

わたしたちのくらしと税金～あなたは減税に賛成ですか？～




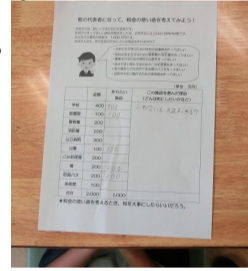




山形市立山寺小学校教諭 6学年 田中 清彦

実施年月日：令和7年 5月27日 6名

1 実践計画・指導のねらい

「わたしたちのくらしと日本国憲法」の単元から、日本国憲法について学習し、三つの原則がわたしたちの暮らしにどのように生かされているのかを理解することができるように考えた。そして、権利と義務について調べることで「税」につなげていきたい。税金がどこで集められ、何に使われているかについて学習することを通して、税金の必要性について考えることができるようにした。さらに、今メディアでも取り上げられている「消費税減税」について、家の人にインタビューしたり、話し合いをしたりすることで自分の考えを深められるようにしていきたい。

2 単元構成・実際の指導状況（単元を通した全体の主な学習計画及び教師の指導）

時間	学習内容	主な発問（○）、こどもたちの反応（●）、使用教材等（□）
1	・日本国憲法について考え、三つの原則についてまとめる。	○ <u>日本国憲法って何だろう</u> ●戦争の後にできたらいい。 ●三つの原則について調べてみたい。 ●ぼくたちに関係あるのかな。 □社会科資料集（文溪堂）
2	・三つの原則について考え、権利と義務について調べる。	○ <u>みんなの生活とはどんなつながりがあるのだろう</u> ●家の人が選挙に行っていたと思う。 ●いろいろな権利と義務があるんだ。 ●大きな地震があったとき自衛隊の人が活動していたよ。 □社会科資料集（文溪堂）
3	・税金について関心を持ち、税の種類や使われ方を調べ考える。	○ <u>税金って何だろう</u> ●消費税は知ってるよ。 ●教科書の裏にも「税金」って書いてあるよ。 □副教材「わたしたちのくらしと税金」 □DVD「マリンとヤマト 不思議な日曜日」
4	・租税教室を通して「税金の使われ方」等について学び、税金の使い道について自分の考えをもち理解を深める。	○ <u>税金は何に使われているのだろうか</u> ●いろいろなところに税金が使われているんだ。 ●まず自分たちの町に必要なのは学校だよ。 ●隣の町にお願いできるものもあるよね。    
5	・消費税の減税について話し合い、税金について考える。	○ <u>減税は本当に必要なのだろうか</u> ●お母さんは「消費税がなくなれば安く買い物ができるからいいね」と言っていたよ。 ●消費税がなくなったら、減った税金はどうするのかな。 ●やっぱり消費税はこのままでいいんじゃないかな。 
6	・税金について学習したことを生かして税に関する絵はがきを書く。	○ <u>税に関する絵はがきを書こう</u> ●税金の必要性を伝えるためにどんなイラストにしようかな。 ●言葉も大切だよ。   

【指導のポイント】《1時間目》

グループで「三つの原則」の1つを担当し、調べたことをPower Pointにまとめた。友達と相談しながら調べまとめることでいろいろな気づきをもつことができた。

【指導のポイント】《2時間目》

自分たちの生活とのつながりを一番感じやすい権利と義務について調べて、考えることで「税」につなげることができた。

【指導のポイント】《3時間目》

税金が自分たちの生活とつながりがあることに気づくことで、その必要性を考えさせることができた。

【指導のポイント】《4時間目》

自分が町の代表者として、限られた税金をどのように有効的に活用するのかを考えることで、人々の思いや願いに気づくことができた。

【指導のポイント】《5時間目》

お家の人にインタビューすることで、消費税に対して、もう一度考え直すきっかけになり、話し合いを通してさらに自分の考えを深めることができた。

【指導のポイント】《6時間目》

これまでの作品も鑑賞することで、自分が描きたいもののイメージを思い浮かべやすくなり、創作意欲につながった。

3 実践の成果（◎）と課題（◆）（租税教育を実施後、教諭自身の感想や児童・生徒の反応、他の教諭に対して、今後参考としてほしい事項など）

- ◎ DVD「マリンとヤマト不思議な日曜日」を租税教室の前に鑑賞しておくことで、税金について自分なりの考えをもって租税教室での話を聞くことができ、税金についてより理解することができた。さらに、自分なりの税金の使い方を考える時間も確保することができ、税金の使われ方も考えることができた。
- ◎ 日本国憲法について自分たちで調べていく中で、「税金」が自分たちのくらしと深く関わっていることに気づき、興味をもちながら学習を進めることができた。
- ◆ 自分なりの税金の使い方を考えたあと、もっと話し合いの時間を確保できればよかった。どんなテーマをもって考えたのか、なぜこのように考えたのか等を交流することで、自分の考えを深められたのではないかと考える。